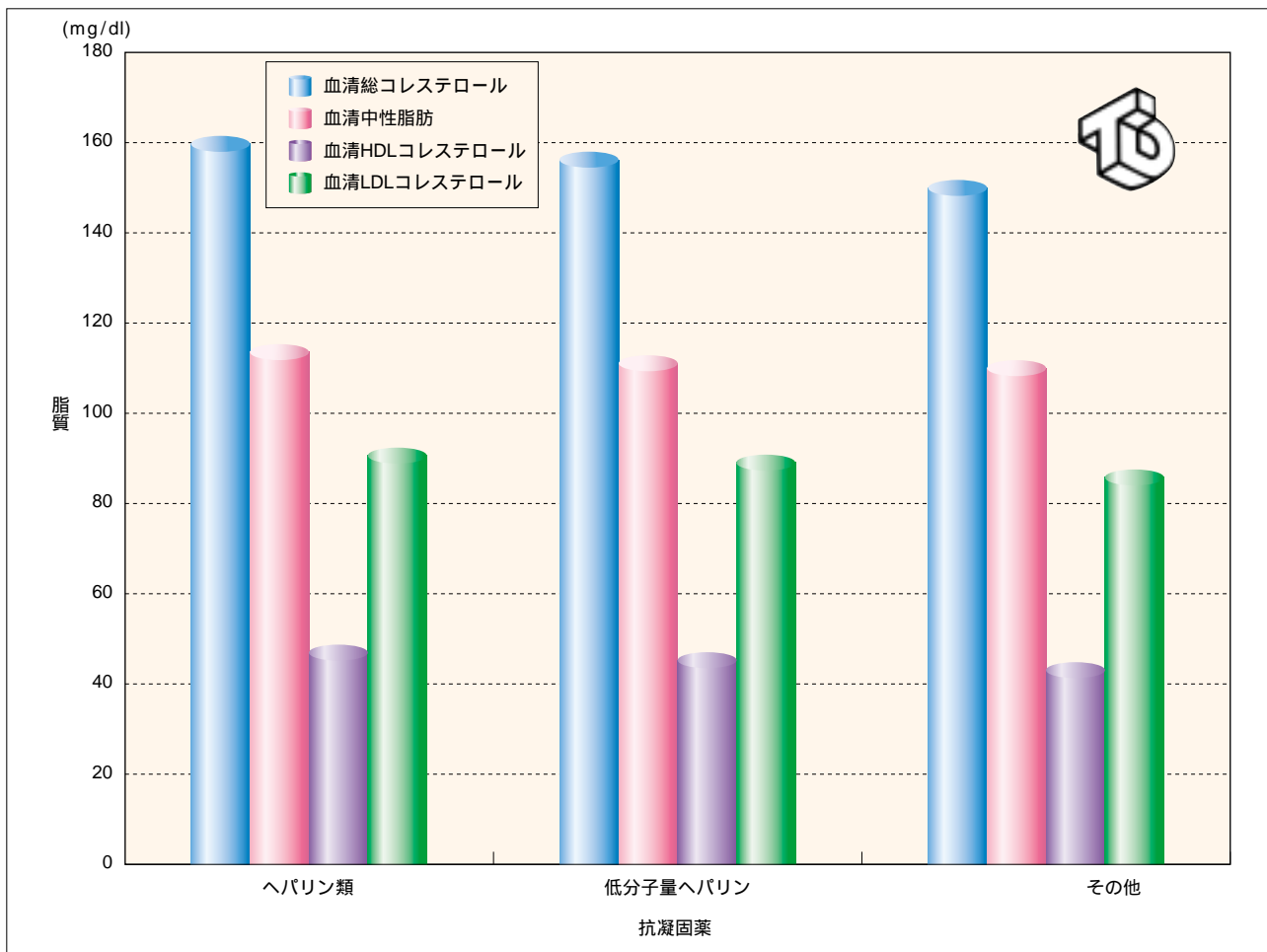


3) 抗凝固薬の使用状況

(2) 抗凝固薬別 各脂質平均値 (図表36)



解説

ヘパリンは血小板凝集作用や脂質代謝への悪影響があるのに対して、低分子量ヘパリンはそれらの副作用が少ないと言われています。今回の調査では、ヘパリン類に比較して低分子量ヘパリンはいずれの脂質も平均値でやや低値を示しましたが、明らかな差は認めませんでした。